

# つじなが便利



第209号

発行日 H26. 2. 1

発行 辻中眼科

編集担当者 安田 梨紗

○診療時間 月・水・金 → 午前(9時~12時) & 午後(3時30分~6時30分)

火・木・土 → 午前(9時~12時)

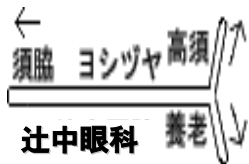
○休診日 日曜・祝祭日・火、木、土曜日午後

○ホームページアドレス <http://www.tsujinaka.jp>

つじなが便利

検索

← クリック!



○Eメールアドレス [tsuji\\_con@mti.biglobe.ne.jp](mailto:tsuji_con@mti.biglobe.ne.jp)

?

院長 辻中まさたけ

院長の小さい頃はよく大人に「なんで？」と質問して面倒くさく思われたものだ。最近の院長は物事に対して頭で考えることをせずに勝手にそういうものだろうと思いつまうとしているみたいで、「？」と思う気持ちが無くなっている。「？」と考えないと楽なためであるが、頭が苦しまない為にさらに記憶力(覚える力)も極端に落ちている。

どうやら、院長の思考回路は考えても無駄な、世間一般にいう「あきらめ」でありモノゴトの丸飲みに過ぎず、「明らかに究める」という本来の言葉の意味に無縁みたいである。

「？」と思う気持ち、「！！」と思う気持ちを再び持つために彼は現在悪戦苦闘中である。(→次ページへ続く)

ところで、孔子の論語にある「・・・五十にして天命を知り・・・」、世間ではいろいろな意味合いとして用いられているみたいであるが、とうとう50歳になった院長、どのように彼なりに解釈し自分の肥にしていくなか見ものである。

院長室にあるビーシュリンプという小エビの水槽、軽いベビーブームである。次世代が成長してくることは見ていて、彼はとてもシアワセな気分になっている。



## 往診について

往診をご希望の方は  
院長までご相談ください。

## <新しいスタッフ紹介>



受付・事務 加藤 美紀

受付・事務として務めさせていただいております。

日々の仕事を私なりに努力していき皆様に

少しでも信頼して頂けるように努めていきます。

宜しくお願いします。

## ●陸上について●

私は8年間陸上競技をやっていました。

その中ではもちろん苦しい事も辛い事も楽しい事も嬉しい事もたくさんありました。それは私にとって、とても大切な経験です。

陸上競技は中学の時に陸上部に入部した事から始めました。種目は長距離です。中学では、貧血でなかなか上手く走れず苦しみました。食生活を見直して何度も改善しました。練習にはついていくのがやっとでした。2年の時、全国駅伝にも出場しており強いチームでした。厳しくて何度もくじけそうになりましたが、メンバーで走りたいその一心で走り走り続けました。3年ではメンバーに入る事が出来ましたが、結果は2位、力を十分に出し切れず全国の切符を逃し2年の時以上に悔しい思いをしました。

高校では貧血よりもケガに苦しみました。大事な大会の前にケガをしてしまってチームの力になれず、ケアには時間をかけるようにしました。

3年の県駅伝で目標に少し届かなかったけどチームも成長して、過去最高のチームになり、そのチームの一員で入れた事を誇りに思います。(次ページへ続く)

高校卒業してからは、中学の時の先生に誘われて小学生や中学生に陸上を教える事になりました。教える事も難しく最初は戸惑う事ばかりでした。でも、陸上の楽しさが少しでも伝えられたらと思います。今でも走る事が好きで、10キローフマラソンに挑戦しています。長ければ長いほど自分の力の無さを感じますが、自分の可能性もまだまだあると思えます。

努力した分、その努力は無駄になることなどありません。次の課題を教えてください、可能性を生み出してくれます。結果はもちろん大切ではありますが、それ以上に陸上へどれだけ自分が向き合えるかそれが1番大切だと私は思います。

文責 加藤



↑N・Tさんからいただきました

ありがとうございました！

## 院外処方箋のお話

当院では、かかりつけの薬局で薬をいただける院外処方箋の発行をおこなっております。

ご希望の方は、受付までお申し付けください。